

地震の備え、できていますか？ 「もしも」のために、今できることを。

7月28日、熊本県で最大震度7を観測する地震が発生しました。地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。自分や家族の命を守るため、この機会に日頃の備えを見直しましょう。

地震に備えて、今からできること

家でできること

- 家具の転倒、落下を防ぐために、固定する
- 寝室に倒れやすい家具を置かない
- 出入り口や通路に物を置かない
- すぐ持ち出せる場所に「非常持出袋」を準備する



家族で決めておくこと

- 避難経路や避難所、連絡が取れない場合の集合場所
- 災害時の役割分担（家族の介助や、発災直後の火元を止める担当等）



避難時に必要なものをひとまとめに

避難生活に必要な最低限のものを家族構成や状況に合わせて準備しておきましょう。

備蓄品の一例(1人分)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| ☐ 飲料水(1日3ℓ×3日分) | ☐ 懐中電灯・軍手 |
| ☐ 食料(レトルト食品・缶詰等) | ☐ バッテリー充電器 |
| ☐ 上着・下着・靴下 | ☐ 常備薬 |
| ☐ めがね・コンタクトレンズ | ☐ 衛生用品 等 |
| ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 | |



詳しくは、
「甲賀市防災マップ
2022保存版」
をチェック



データ版はこちら

知ったら、次は体験しよう！

滋賀県総合防災訓練・甲賀市総合防災訓練

訓練や体験を通して、楽しみながら防災について学びませんか。今年は2つの会場で開催します。

日時 10月25日(日)9時～13時

※当日は、会場付近の交通が混雑する可能性があります。通行には十分注意してください。
※なお、天候により内容を変更する場合があります。
※会場にて訓練の様子をドローンで撮影します。映像を啓発等に使用する可能性がありますので、ご了承ください。

水口スポーツの森 (滋賀県総合防災訓練)

- 防災展示・体験・啓発コーナー
- 林野・市街地等火災防ぎょ(遠距離送水)訓練
- 道路啓開訓練 など

雲井小学校 (甲賀市総合防災訓練)

- 避難所開設・運営訓練
- 地震体験(起震車)
- 消防隊員変身体験
- ドローン操作体験
- 煙体験ハウス
- はたらく車大集合 など



詳しくは
こちら

問 危機管理課 防災安全係 ☎ 69-2103 ☎ 63-4619

平和への思いを未来へつなぐ 活動レポート

戦争の記憶を次の世代へつなぎ、平和について考えるため、市ではさまざまな取り組みを行っています。この夏に行った2つの取り組みを紹介します。

小学生15人が広島平和記念式典へ参加(広島平和記念事業)

8月5日・6日、市内の小学6年生15人が広島を訪れ、広島平和記念式典への参列などを通して、原子爆弾の恐ろしさや平和の尊さについて学びました。現地を見て、聞いて、感じたことを胸に、こどもたちは「学んだことを周りの人や次の世代へ伝えていきたい」と、それぞれに平和への思いを深めました。



参加児童たちの作文(抜粋)

- 被爆体験を直接聞くことができた最後の世代の一人として、原子爆弾の恐ろしさや非人道さが色あせないよう、責任を持って学んだことを伝えていきたいです。(希望ヶ丘小学校 北森さん)
- 普段送っている平穏な毎日、当たり前ではないと痛感しました。広島を見て、聞いて、心で感じたことを周りの人に伝え、日常生活の中でも相手を思いやる気持ちを忘れずに過ごしたいです。(伴谷小学校 前田さん)
- 教科書だけでは分からない原爆の恐ろしさを知りました。近い未来、原爆の実際の体験を伝える人はいなくなるかもしれません。今回の経験で学んだ私たちが、平和の尊さを忘れず、次の世代につむいでいきたいです。(水口小学校 浅見さん)

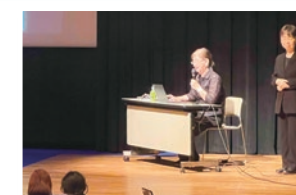
甲賀市平和祈念のつどいを開催

8月23日、あいこうか市民ホールで「甲賀市平和祈念のつどい」を開催しました。

第1部では、戦没者を追悼し恒久平和を願う「平和祈念戦没者追悼式」を行い、第2部では、広島平和記念事業に参加した小学生代表の3人が、広島で学び、感じたことを発表しました。

続いて、広島市から被爆体験伝承者の三保令子さんを迎え、被爆された方の体験をもとに、原子爆弾や放射線の恐ろしさ、被爆直後の状況、平和への思いなどをお話しいただきました。

当日は130人を超える幅広い世代が参加し、戦争の記憶と平和の大切さについて改めて考える機会となりました。



平和への思いを話す三保さん

問 広島平和記念事業について／総務課 総務統計係 ☎ 69-2120
追悼式について／地域共生社会推進課 福祉総務係 ☎ 69-2157